



善正寺だより

掲示板法話

老いの身にも仕事がある

「礼を言う」という仕事があった

二月になりました。暖冬とはいえ、寒さも和らいで梅の便りが聞かれるのも楽しみな季節です。

二月にはお釈迦さまが亡くなられた日(涅槃会…二月十五日)が巡ってきます。二千五百年前の八十歳という長寿は驚くべきことですが、最晩年まで教えを説き続けられたエネルギーがシユなお姿に学びたいと思います。

頂いた年賀状の整理をしてみました。旧友の賀状の末尾に「古希を過ぎたので、これを最後の年賀状とさせていただきます」という添え書きを発見。近年は年賀状だけの付き合いになっていた友達の故、理解できない訳ではないけれど、「寂しき老後」の友を想像しつつ、淋しくなりました。

「もう歳とったから、あかんもん(ダメな者)になってもうた。早うお迎えが来てほしいわ」という愚痴話を聞くことがあります。そんな愚痴を聞いたS先生は、「あなたにはまだ大事な仕事が残っていますよ」と言われます。「仕事ってどんなことですか?」と問われ、「有難う」って言うことです。

〒:512-0902
三重県四日市市
小杉町1014
浄土真宗
本願寺派
善正寺
TEL:0593-31-1670
TEL:0593-32-0733



奥さんにも先生にも看護師さんにも、お見舞いの人にも『有難う』と言うのがあなたの仕事です。もし、声が出なければ手で、眼で言うてください」と諭され、更に「どのようになってもお救い下さる阿弥陀様にお礼申すのが第一ですよ」と病室で共にお念仏されたそうです。

浄土和讃の中に、「南無阿弥陀仏をとなふれば」で始まる現世利益和讃が9首あり、その一首に、

南無阿弥陀仏をとなふれば
この世の利益きはもなし
流転輪廻のつみきえて
定業中天のぞこりぬ

と詠まれています。お念仏を称えれば現世の利益は無限である。迷いの世界を流転する原因である罪障が消えて中折れることはない、という意味です。中折れることがない、とは空しく終わらず、完全燃焼される人生だと味わうことができます。死んでから先の救いではない。人生の険しい山坂を乗り越えてきた老境

☆行事ご案内☆

☆2月の門信徒会例会

2月21日(日)夜7時半

- 大遠忌法要(5/15)に向けて ① 法要への準備:役割・準備日程
- ② 「法要しおり」の確認と製本化

- ◇絵手紙教室 2月9日(火)午前10時 庫裏食堂7回目
- ◇キッズサンガ 2/6(土)4時。鐘つきは毎夕5時年中無休
- ◇三重組コーラス2/18(木)午後 西勝寺様で練習、
- 善正寺ホームページ「三重 善正寺」で検索。1年分の寺報閲覧。
- 毎日更新のブログ「住職と坊守のつれづれ日記」が好評。開設7年6か月で19万5千訪問、一日約80訪問以上、悩み相談、大歓迎!即返信
- ◇「一縁会テレホン法話」059・354・1454へ電話
- 新刊法話集『たつた一つの道』(自照社、800円+税)発行

(予告)◇春季永代経3月19(土)20(日)午後1時半
講師加藤学人先生(桑名)、初日夜の法座は今回ありません
※大遠忌法要までのタイムスケジュール
2月21(日)夜の例会で法要の冊子を協力して作成作業
5/8(日)門徒総出の準備作業、掛け出し、掃除、他にも役稚児さんの練習、音楽法要、関係者打ち合わせ等、日程は未定
親鸞聖人750回大遠忌法要平成28年5月15日(日)午後

- (緊急)お稚児さん大募集!5千円、申込みは善正寺まで
- ◇4月16日(土)午後1時「初参式」赤ちゃん募集!
- ◇新納骨堂:後継者のない方、お墓でお困りの方ご相談下さい
- ◇法事の場所でお困りの方、寺にご相談下さい。本堂使用可

は、すべての苦勞も無駄ではなかった。お救いに遇うご縁であったと見直すことができます。生かされて頂いているこの身、このままに感謝の念が湧き、できることを見つけて精一杯させて頂くことにより、長寿社会を「本当の意味で豊かに生きる」ことになるのではないのでしょうか。

お悔やみ申し上げます
・古矢君枝様(小杉町・97歳) 27年12月16日、逝去されました。
・川崎幸子様(三重団地・67歳) 27年12月17日、逝去されました。
・生前のご苦勞、ご活躍を偲び衷心より哀悼の誠を表します。合掌。



今月の写真アラカルト

左: 道路際に設置された新掲示板
下: 元旦会に集う参詣者の記念撮影



修復された大灯籠

坊守スケッチ

『猿と人間の子育ての違い』



今年も申年。申に人偏を付けければ「伸」。夫々が目標に向かって伸びる年になりたい。猿研究の専門家松沢哲郎教授が中日新聞に興味深い記事を投稿していた。「猿と人間は共通の祖先から枝分かれしたが、大きな違いがある。寝たきりで骨も露わな床ずれを起こした猿は、じつと痛みを耐えるだけだが、人間は将来を悲観して絶望する。何故ならば猿は「ただ今だけ」を生きているから。しかし人間には絶望する能力と同じだけ「想像する力」がある。「想」という漢字は「生茂った木を見て生命力を感じ、その恵みを他へ分け与える」という意味。人間が想像力を生かして他を思いやり分け与えることが、人間らしい生き方である。

とは何故か？そこに人間たる所以がある。人間には夫婦の絆、イクメンパパ、祖父母や隣近所の協力、保育園、幼稚園、学校の先生などの支えがある。母親も多くの人々の協力によって、子育ての時間とストレスを軽減でき、自分の仕事に励むことができる。

ところで子育てに関しては、チンパンジーと人間との間に大きな違いがある。チンパンジーの父親は子育てに全くノータッチ。雄は雌や子供に餌を分け与えない。それどころか発情期には一夫多妻制で、雌は子供の父親が誰なのかさえ分からない。それでも母親のチンパンジーは、わが子が一人前に生きていける知識を身に付けさせるまで数年間かかりきりで世話をする。動物の場合は学ぶことが多いほど子育て期間が長くなる。一番長い筈の人間がチンパンジーよりもずっと短い

以前「ケータイを持ったサル」という本が出版されたが、現在はスマホに夢中で自分の欲求を満たすために子育ては二の次の若いカップルが大勢いる。猿に笑われないように、想像力を働かせて愛情豊かな中で、思いやりの心を持った子供を育てたいものだ。

★平成28年度善正寺主な年間行事
 3/19(土)・20(日)『春季永代経』(加藤学人師・桑名)
 4/16(土)午後・三全仏主催『初参式&降誕会』(加藤幸子師・津)
 5/8(日)午後、法要準備作業全員
 5/15(日)『親鸞聖人七五〇回大遠忌法要』午後一時稚児練、音楽法要、講演(河内美舟先生・山口県)
 5/29(日)午前 門信徒会総会
 8/20(土)・21(日)『秋季永代経』(加藤正人師・桑名)
 11/2午後・夜、3午前・午後仏婦
 『報恩講』(守快信師・滋賀)
 11/23午前『秋勧進』
 12/3(土)夜『お内仏報恩講』

☆若院夫婦の『育自な毎日』その16
 布団から出るのが辛い季節ですね。湯タンポを愛用している方もいらっしやるでしょうが、我が家は子どもたちがその役割をしてくれています。朝方、気づけば長女(1)は私のお腹の辺り、長男(3)は背中にぴったりとくっついて寝ています。長男は自分の布団から抜け出して私の方に潜り込んでいます。子どもの体温は高いので、二人に挟まれてポカポカです。ただ、よく寝ている子どもたちが起きるといけないので寝返りが打てず、体が痛いことは日常茶飯事です。寝相の悪い長男に布団を引っ張られて肩や足が寒い、ということもよくあります。皆さんは何歳頃まで両親や祖父母と寝ていたか覚えていますか。小学生になると子ども部屋を持つようになると別々に寝るようになることが多いかもしれません。親子で並んで寝るのは短い期間です。可愛い寝顔は一日の最後のご褒美！くっついて寝てくれる間はその温もりを大切にしたいと思えます。(潤爾・由佳)



カンパありがとう

澤田美智江様、本田和子様、富田和代様、川内八重子様、松岡愛子様、小泉信了様、他匿名様より頂戴。感謝

ホットニュース

◇新掲示板設置！大駐車場道路際に大きなガラス戸付の新掲示板が門徒推進員の佐藤和義氏の御寄附により設置されました。掲示物は磁石で止める方式。伝道教化の窓口として大いに活用します。有難うございました。

◇献華・献灯者(女性)募集。5/15のご法要直前にお花や灯明をお供えする儀式。衣装は白ブラウス・黒口ングスカート、式章。一度だけ練習。◇役稚児さん募集！ご法要当日日本堂内陣で簡単な作法をして頂きます。一度だけ事前練習します。小学生程度。

◇お稚児さん大募集！平成28年5月15日、親鸞聖人750回忌法要の御稚児さん大募集！参加費5千円。あと3か月、大変困っています。どうかご協力下さい。

◇三全仏教師人会主催『初参式』の赤ちゃん・幼児を大募集中！来年4月16日(土)午後1時より善正寺にて。お稚児さんのか月前ですが合わせてお申込み下さい。参加費千円。

★ 編集子より ★

「善正寺だより」266号をお届けします。◇暖冬が続いている。暖かいのは有難いが、スキー場は困り、野菜は伸びすぎて品質、味が見劣りする？◇この世はまさに、裏と表があり、本当の安らぎ、喜びを知らずに右往左往する人生。◇半世紀に一度の宗祖750回大遠忌法要迄三か月。「世の中安穏なれ、仏法広まれ」の心を共有する仏縁でありたい。合掌。

新年早々から物騒なニュースが飛び交います。平穩無事な生活も砂上の楼閣。いつ崩れるかわりしれないと不安になります。しかしどんな時でも恐れて立ち止まるわけにはいきません。「歴史を学ぶ」と明日が読める」と言われますが、先人の教訓を心に刻んで力強く歩みましょう。親鸞聖人七五回大遠忌法要まであと百日余り、過去の法要に比べて稚児募集集にもその勢いはなく本当に困っています。「生に三度出すとよい」と言われていますので、仏縁デビコと思つてよろしく協力下さいませ。先日散歩をしながら携帯ラジオを聞いていますと懐かしい歌ワめたかの兄弟が流れて来ました。早速真似てワ善正寺の仏の子ハという替え歌を作りました。「善正寺に集まる仏の子ハいつも仲良く遊ハび寺5時になったら鐘ツついてちかいの言葉ヲを唱えます。ナムナムナムナムナムナムハ（くり返す）のさまに向テ一緒にお手を合ワせませ。ナムナムニ善正寺に集まる仏の子ハ鐘ツき後の樂ハは当たりついたがムと鉛ハもしも当たればもうひとつ（ランランランランランラン）（くり返し）明日は友達も誘つてのさまさようならランラン」親しみ易いメロディに子供達もノリノリです。お寺が放課後の子供達の居場所になるように今年も努めたいと思ひます。元旦に頂いた年賀状で心に響いた言葉があります。「人生最期に残せるものは、自分が集めたものではなく、与えたものである」。寺に集まる子供達に私は少しくも感じてもらうのが私の願ひです。

合掌

平成二十八年二月

善正寺坊守 拝